



現在の国分寺境内地は奈良時代の国分寺があった場所で、現境内地は東西 70、南北 92 ㍎、民地が入り組んでいて創建当時の寺域より、かなり狭まっていて、室町時代の国分寺本堂が建っている。

昭和 27～29 年、国分寺本堂を解体修理する際に本堂下が発掘調査され、9 個の礎石と根石を確認した。この遺構は 4×7 間規模の建物跡と推定され、金堂跡と推定されている。

昭和 61 年、境内北側に貯水槽を造る際、高山市教育委員会により発掘調査がなされ、現況表面から 130～150 ㍎下に瓦片が出土した。この面が奈良時代の生活面であり、広範囲の河川氾濫により、奈良時代の遺構が埋まってしまったものと考えられている。

本堂東側に玉垣で囲われた塔心礎石(国指定史跡)が据えてあり、礎石本体は創建当時のものと推定される。ほぼ方形で、上面に円柱を据える座を造り出し、その中央部に円形の穴があげられる。礎石の寸法は、径約 2 ㍎四方、地上高さ約 1 ㍎。しかし過去に東方向から西に移動されて、原位置を保っていない。

奈良時代国分寺の屋根瓦は、高山盆地の西方山麓にある「赤保木瓦窯」で焼かれており、軒丸瓦は 5 個の蓮子をもつ中房の周囲に細形単弁八葉の蓮花文を配し、外区に珠文帯をめぐらす。軒平瓦は、二重圈の中に左右対称の唐草文を配する。

西方の国分尼寺(辻ヶ森三社)と東西一直線に並び、この時代の条里型地割の痕跡も報告されていて、高山盆地における奈良時代の景観が知られる。

参考文献 「角田文衛編集『新修国分寺の研究 第 7 巻 補遺』株吉川弘文館 平成 9 年発行
「第 2 飛騨」第 2 項飛騨の項・267～300 頁田中彰



0001_三重塔



0002_三重塔



0003_三重塔



0004_三重塔



0005_三重塔



0006_三重塔



0007_三重塔



0008_三重塔



0009_三重塔



0010_三重塔



0011_三重塔



0012_三重塔



0013_三重塔



0014_三重塔



0015_三重塔



0016_三重塔



0017_三重塔



0018_三重塔



0019_三重塔



0020_三重塔



0021_三重塔



0022_三重塔



0023_三重塔



0024_三重塔



0025_三重塔



0026_三重塔



0027_三重塔



0028_三重塔



0029_三重塔



0030_三重塔



0031_三重塔



0032_三重塔



0033_三重塔



0034_三重塔



0035_周辺



0036_周辺



0037_周辺



0038_周辺



0039_周辺



0040_周辺



0041_周辺



0042_境内



0043_境内



0044_境内



0045_境内



0046_境内



0047_大銀杏



0048_大銀杏



0049_大銀杏



0050_大銀杏



0051_大銀杏



0052_大銀杏



0053_大銀杏



0054_木鶴大明神像



0055_木鶴大明神像



0056_木鶴大明神像



0057_木鶴大明神像



0058_本堂



0059_本堂



0060_本堂



0061_本堂



0062_本堂



0063_本堂



0064_本堂



0065_本堂



0066_本堂



0067_本堂



0068_本堂



0069_本堂



0070_本堂



0071_本堂



0072_本堂



0073_本堂



0074_本堂



0075_本堂



0076_表門(山門)



0077_表門(山門)



0078_表門(山門)



0079_表門(山門)



0080_表門(山門)



0081_表門(山門)



0082_表門(山門)



0083_表門(山門)



0084_表門(山門)



0085_鐘樓門(鐘樓堂)と梵鐘



0086_鐘樓門(鐘樓堂)と梵鐘



0087_鐘樓門(鐘樓堂)と梵鐘



0088_鐘樓門(鐘樓堂)と梵鐘



0089_鐘樓門(鐘樓堂)と梵鐘



0090_鐘樓門(鐘樓堂)と梵鐘



0091_鐘樓門(鐘樓堂)と梵鐘



0092_鐘樓門(鐘樓堂)と梵鐘



0093_鐘樓門(鐘樓堂)と梵鐘



0094_鐘樓門(鐘樓堂)と梵鐘



0095_鐘樓門(鐘樓堂)と梵鐘



0096_鐘樓門(鐘樓堂)と梵鐘



0097_鐘樓門(鐘樓堂)と梵鐘



0098_鐘樓門(鐘樓堂)と梵鐘



0099_鐘樓門(鐘樓堂)と梵鐘



0100_鐘樓門(鐘樓堂)と梵鐘



0101.飛驒匠物語の写真



0102.飛驒匠物語の写真



0103.飛驒匠物語の写真



0104.飛驒匠物語の写真



0105.飛驒匠物語の写真



0106.飛驒匠物語の写真



0107.飛驒匠物語の写真



0108.飛驒匠物語の写真



0109.飛驒匠物語の写真



0110.飛驒匠物語の写真



0111.飛驒匠物語の写真



0112.飛驒匠物語の写真



0113.飛驒匠物語の写真



0114.飛驒匠物語の写真



0115.飛驒匠物語の写真



0116.飛驒匠物語の写真



0117.飛驒匠物語の写真



0118.飛驒匠物語の写真



0119.飛驒匠物語の写真



0120.飛驒匠物語の写真



0121.飛驒匠物語の写真



0122.飛驒匠物語の写真



0123.飛驒匠物語の写真



0124.飛驒匠物語の写真



0125.飛驒匠物語の写真



0126.飛驒匠物語の写真



0127.飛驒匠物語の写真



0128.飛驒匠物語の写真



0129.飛驒匠物語の写真



0130.飛驒匠物語の写真



0131.飛驒匠物語の写真



0132.飛驒匠物語の写真



0133.飛驒匠物語の写真



0134.飛驒匠物語の写真



0135.飛驒匠物語の写真



0136.飛驒匠物語の写真



0137.飛驒匠物語の写真



0138.飛驒匠物語の写真



0139.飛驒匠物語の写真



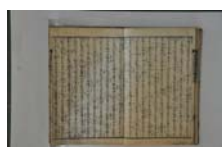
0140.飛驒匠物語の写真



0141.飛驒匠物語の写真



0142.飛驒匠物語の写真



0143.飛驒匠物語の写真



0144.飛驒匠物語の写真



0145.飛驒匠物語の写真



0146.飛驒匠物語の写真



0147.飛驒匠物語の写真



0148.飛驒匠物語の写真



0149.飛驒匠物語の写真



0150.飛驒匠物語の写真



0151. 飛騨匠物語の写真



0152. 飛騨匠物語の写真